

## できないことをできるようにする方法



『6年生は先週、皆さんと一緒に運動会を終え、連合運動会でも力を合わせてがんばって終えることができました。どの学年の皆さんも次の目当てに向かってがんばりましょう。それではみんなで朝の挨拶をしましょう。お早うございます。(おはようございまあす。)]

6年生の合図で元気に挨拶できました。今の6年生のお話にもありましたが、先週は皆で運動会をがんばり6年生は連合運動会もがんばって終えることができました。前にもお話したように、学校はできないことをできるようにするところ。運動会では、1年生も2年生も、3年生も4年生も、5年生も6年生も、そして連合運動会でも6年生が、一人一人目当てを持って、そしてみんなで同じ目当てに向かってがんばって出来ないことをできるようにがんばりましたね。次の目当ては何でしょう。6年生はもうすぐに移動教室といって、杉並から離れ、伊豆というところで3日間地価を合わせて楽しく生活してきます。その後は、1年生も2年生も3年生も4年生も、5年生も6年生も、桃五小みんなの学芸会が待っています。めあてを持ってみんなで力を合わせて、できないことをできるようにしたいですね。

そこで、今日は「できないことをできるようにする方法」という話をします。

先週の運動会では、みんな一人一人が自分の一番の力を出して、元気に・なかよく・楽しく、がんばることができました。

それから、6年生は桃五の運動会が終わってすぐ次の日に、この地域の小学校5校、八成小学校、沓掛小学校、杉並第九小学校・天沼小学校、そして桃井第五小学校の6年生が集まって連合運動会をしました。

最近朝早くに、6年生がリレーや走り幅跳び、長縄跳びなどを一生懸命に練習しているのを見た人もたくさんいるはずですよ。

6年生は、桃五小の代表として、力いっぱい一人一人ががんばり、みんなが力を合わせ心をつにして取り組みました。

出かける前に、今すぐにできることで一番になろう、ということで、挨拶はなしの聞き方並び方等、桃五小の代表として一番になろう、という目当てをみんなで持って沓掛小へ出かけました。

さっきもお話したように、学校はできないことをできるようにするところです。運動会も連合運動会も同じ。できないことをできるようにがんばる会です。

決して戦いに行くのではありません。競い合いに行くのです。できないことをできるようにするために学び合いに行くのです。

さて、そんな連合運動会で、こんなことがありました。

一つ目は、長縄跳びの競技の時のことです。それぞれの学校が、クラスごとに跳んでいきます。どのクラスも、励まし合い声をかけ合い、みんな真剣です。ひっかかっても文句を言う人はいません。縄の音だけが響いていきます。

そんな中、それぞれのチームが終わると、跳んだ回数を担任の先生から聞いて、まだ他の学校の結果もわからないのに抱き合って喜んでいきます。

桃五小の6年生も桃五小に戻ってきてから長縄跳びの結果を聞きました。昨日までの記録を更新し、桃五小のピロティで喚声が上がりました。

そうです、まだ1位か2位かそんなことは分からないけれど、昨日までの、さっきまでの自分たちの記録より沢山跳べたのです。他のチームと比べたのではなくて、自分たちの記録に挑戦したのです。

昨日までの自分、今日の自分、そして明日からの自分を比べて、昨日の自分よりは少し

でも今日の自分をよりよく、そして今日の自分たちよりは、少しでもよい明日の自分たち、を目指してがんばる。

自分のなかのいいとこさがしです。この、より良い自分を目指すことが、できないことをできるようにするためにとっても大切なことのひとつです。

二つ目は、走り幅跳びの時のことです。

他の学校の男子がとてもしょうずに、そしてずいぶん遠くまで大ジャンプをしました。すると、自分たちの学校のなかまでもないのに、他の学校の子たちがすごいすごい。と、拍手をし、大きな声で声援を送っていました。そう、戦っているのではなく、競い合う。他の人の素晴らしいところは見習って、自分も同じようにできるようにする。学び合っているのです。

そう、みんなそれぞれの得意技を見つける、いいとこ探しをして、見つけたいいところは自分もそうできるように努力する。

ですから、5つの学校それぞれに、自分たちのよさを一生懸命に出し合い、記録を更新しようがんばる。他の学校の演技を見て、学べるところ、参考にできるところは参考に自分の記録をさらに伸ばす。

まさに、できないことをできるようにするために競い合っているのです。

連合運動会が終わった時には、勝ち負けではなく、どの学校のどの子の顔も輝いていました。みんなみんな1等賞。

このように、できないことをできるようにするには、昨日の自分よりも今日の自分。今日の自分よりも明日の自分がよりよくなるように、自分の得意なこと自分のやりたいことを一生懸命に努力していくことです。

そして、この時に、自分一人では、どのようにするとよくなっていくのかが分からないことが多いけれども、人のよいところを見つめて、そこから学んでいけば次の自分の目当てがはっきりしてくるものです。いつも自分大切にして、でも人のよいところを見つけて、そこから学ぶ気持ちが大切です。桃五小には617人の人がいます。だから617の、いいとこさがしができるわけです。

この二つが、できないことをできるようにする方法です。

そしてこれはなにも体育やスポーツだけのお話ではありません。算数も国語も、友だち作りもお掃除もみんなみんなおなじ。

いま、6年生が力を合わせ、チームワークよくがんばっています。みなさんも6年生に負けずに、昨日よりも今日、今日よりも明日。もっともっといろんなことができるようになるために、たくさんのお友達のいいところから、たくさん学んでいってください。それが、桃五の子みんなが、よくなる方法です。

お話、終わります。

